

# J-HオイルMT220

～高引火点多目的油～

## 使用事例

【業種】 大手鉄鋼

【油種】 J-H オイルMT220

【前油】 オマラS2G220



## お困りごと

指定数量の10倍を大幅に超えており、消防の指摘により10倍未満にする必要があった。

## 切替の効果

指定数量の10倍未満の圧縮。

## 消防対策の達成

### 一般性状

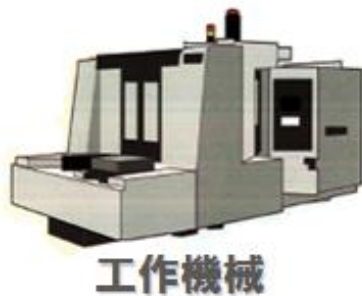
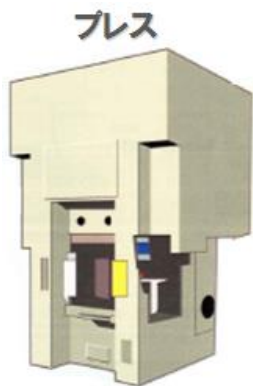
試験項目	単位	J-HオイルMT220	オマラ S2G220
色相 (ASTM)	-	L3.0	L3.0
動粘度 (40°C)	mm <sup>2</sup> /s	219	220
動粘度 (100°C)	mm <sup>2</sup> /s	19.4	19.2
粘度指数	-	100	98
密度 (15°C)	g/mL	0.894	0.896
流動点	°C	-30.0	-20.0
引火点(COC)	°C	<b>258</b>	242

# 消防法対策 ～高引火点潤滑油～

消防署への届出が  
手間なんだよね

消防対策に  
費用が掛かるんだよね

- ✓危険物の貯蔵量を増やしたい
- ✓レイアウト変更・工場新設したい



そのお悩み、  
弊社高引火点潤滑油が  
解決します！

# J-HオイルMT220 ~高引火点多目的油~

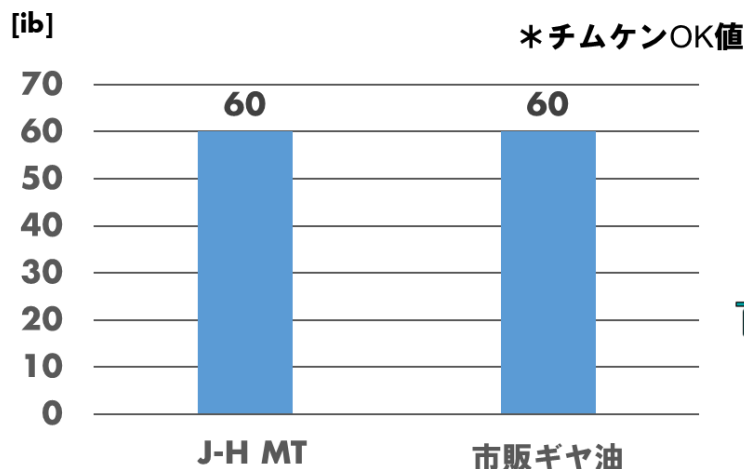
オマラS2Gと比較し、遜色ない極圧性・耐荷重性・水分離性・消泡性を有しています。

## <J-HオイルMT220の特徴>

- 極圧性に優れ、極圧条件下での焼き付きを防止。
- 水分離性に優れ、水分混入に起因する乳化による油膜破断（摩耗・損傷）、発錆、スラッジ生成を抑制。
- 消泡性・放気性に優れ、ポンプの泡吸い込みによる潤滑不良・装置の損傷・油劣化の回避。

## 優れた耐荷重性

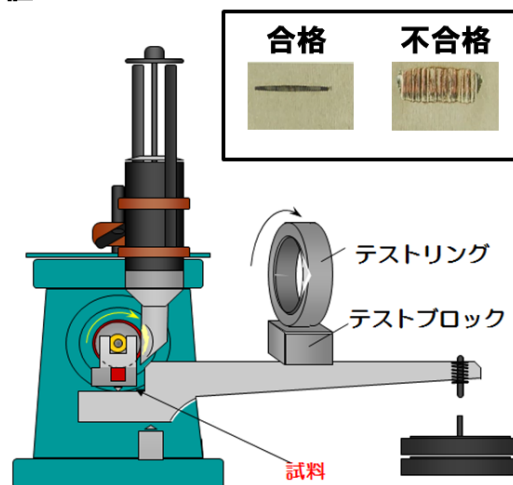
### チムケン耐荷重試験



#### 【試験条件】

- ・温度 : 40℃
- ・試験時間 : 10min

試料を試験片部に供給しながら、規定荷重下で10分間運転を行い、テストブロックにスコアリング(損傷キズ等)が生じない時の荷重を合格荷重(チムケンOK値)とする。

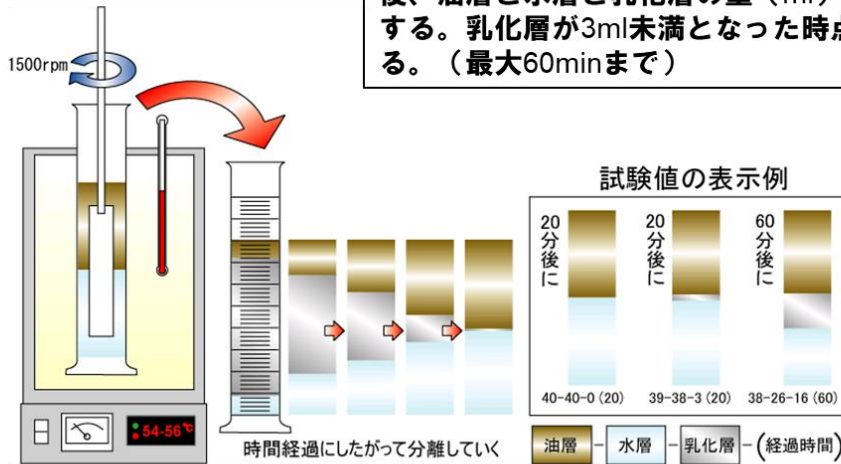


## 期待される効果

- 線接触 極圧条件下での焼き付き防止

# 優れた水分離性

容器に試料と水を40mlずつ入れ、一定時間攪拌した後、油層と水層と乳化層の量（ml）を5分ごとに測定する。乳化層が3ml未満となった時点で試験を終了する。（最大60minまで）



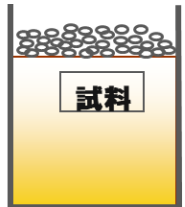
	J-H オイル MT	弊社ギヤ油
水分離性 結果 ml - ml - ml (min)	40 - 40 - 0 (15)	40 - 40 - 0 (15)

## 期待される効果

■ 油膜破断による摩耗・損傷、発錆、スラッジ生成を抑制

# 優れた消泡性

試料に空気を吹き込み、  
 ・ 空気の供給を止めた直後の泡の容量（泡立ち度）  
 ・ 10分後の泡の容量（泡安定度）  
 を測定



	J-H オイル MT	弊社ギヤ油
泡立ち度 (Seq I)	0 ml	0 ml
泡安定度 (Seq I)	0 ml	0 ml
泡立ち度 (Seq II)	0 ml	0 ml
泡安定度 (Seq II)	0 ml	0 ml
泡立ち度 (Seq III)	0 ml	0 ml
泡安定度 (Seq III)	0 ml	0 ml

Seq I: 試験温度 24℃  
 Seq II: 試験温度 93.5℃  
 Seq III: 試験温度 93.5℃ 後24℃

## 期待される効果

- エアブリーザーからの吹きこぼれの回避
- ポンプの泡の吸い込みによる潤滑不良・装置の損傷・油劣化の回避